

1校へ

(平成26年4月開校)

児童・生徒数の減少による教育環境の改善

学校の在り方検討委員会の設置

結論 ①中学校については、早い段階で1校に統合を進めることが望ましい。
②小学校については、当分の間諸推移を見守りながら検討していく。

各中学校区において、意見交換会や説明会を実施。

第一中学校存続を求める陳情書並びに請願書が提出される。

当初計画より1年延期し、**26年4月1日統合の提案(可決)**

委員会質疑

質問

本町の総合計画には、地域と一体となった青少年の健全育成が掲げてあり、「地域が学校を、学校が地域を支える」とうたっているが、中学校統合を進める上で、その仕組みをどのような政策を持って補完していくのか。また陳情・請願等の住民の思いはどのように考えているか。

答弁

地域との連携については、公民館活動などを通じ、連帯感を培われるような対策や、地域の活力が一層生まれるような対策をとっていく。またその責任については十分果たしていきたい。

陳情・請願については、地域の総意であろうと重く受け止めている。又、地域の活力低下や寂しさなど不安に思われているのも十分理解する。しかし、現在の子供たちの教育環境を少しでも改善するためには、1校統合が最善の策であると考えます。